

平成 22 年 4 月 15 日現在

研究種目： 基盤研究 (C)
 研究期間： 2007～2010
 課題番号： 19520191
 研究課題名 (和文) 英国 18-19 世紀予約購読出版と文芸サークルが女性詩人支援に果たした役割
 研究課題名 (英文) Roles and Contributions of Subscribers and Literary Circles for Supporting Female Poets in the 18-19th Century Britain
 研究代表者
 小林 英美 (KOBAYASHI HIDEMI)
 茨城大学・教育学部・准教授
 研究者番号： 70277862

研究代表者の専門分野： 人文学
 科研費の分科・細目： 文学・英米・英語圏文学
 キーワード： 英文学

1. 研究計画の概要

計画は 2 部からなる。最初の 2 年は、予約購読出版に関わったスコットランド女性詩人、出版者、そして文芸サークルに関連する資料の収集と精査であり、具体的には、詩人ジョアンナ・ベイリー、アン・グラント等の作品研究とその文芸サークルの読者層研究である。次の 2 年は、ロンドンにおける女性詩人について同様の研究を行なうもので、具体的にはヘレン・マライア・ウィリアムズとシャーロット・スミスを対象とする。

なお 3 年度目には、最初の 2 年間で必要であることが判明した海外でのみ閲覧できる資料で研究をするためにオックスフォード大学ボドリアン図書館等を利用することにした。研究成果は学会で発表し、意見交換も行なった上で、論文としても公表する。

2. 研究の進捗状況

(1) 上掲の第 1 部のスコットランドの文芸サークルと詩人に関する研究で、想定以上に解明すべき課題があることがわかり、研究を進展させたため、第 2 部のロンドンの文芸サークルと詩人に関する研究がやや遅延して

いる。ただし、それだけ第 1 部の研究は視野の広い充実したものになっている。

(2) 研究成果の公表として、学会発表は順次行なっているが、その発表原稿の論文化が不十分である。

3. 現在までの達成度

③ やや遅れている。

(理由) 上述のように、第 1 部の研究課題の拡大の結果、第 1 部についての学会発表原稿の論文化の達成度と、第 2 部のロンドンの文芸サークルと詩人に関する研究とその論文化の達成が不十分だからである。

4. 今後の研究の推進方策

本年度は、研究紀要等への論文発表を増やすことで文書化を推進し、遅延を回復する。

またロンドンの文芸サークルに関わりのある詩人の研究に重点をおいた研究にする。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[学会発表] (計 3 件)

- ① 小林英美、Mrs. Grant of Laggan の 'Killiecrankie' の政治性と読者網の国際性、イギリス・ロマン派学会全国大会、於明星大学、2009 年 10 月 4 日。
- ② 小林英美、詩人アン・グラントと 19 世紀初頭スコットランドの文芸サークル、欧米言語文化学会第 117 回例会、於日本大学、2009 年 3 月 8 日。
- ③ 小林英美、'La Belle Dame sans Merci' の調べと音楽的文学受容—「読者」とし

ての作曲家Stanford、イギリス・ロマン派
学会全国大会、於成蹊大学、2007年10
月14日。

〔図書〕（計1件）

清水一嘉、小林英美編著、『読者の台頭と文
学者』、世界思想社、2008年。（147-192頁）